



市議会だより



新たな歴史へ～いずみ小学校・金木中学校開校式

主な 内容	定例会の概要…………… 2	議決結果表…………… 5	クールビズの実施について …… 9
	平成24年度予算の概要 …… 2	一般質問 …… 6～7	委員会行政視察報告 …… 10～11
	条例等の概要 …… 3～4	総括質疑 …… 8	次回定例会の予定…………… 12
	指定管理者一覧表…………… 4	予算特別委員会…………… 8～9	請願、陳情について…………… 12
	議会会議録の公開について…………… 4	討論 …… 9	編集後記 …… 12

平成24年第一回 定例会の概要

第1回定例会が、2月27日から3月15日までの18日間の会期で開催されました。

今定例会では、平成24年度一般会計予算など、市長から提出された議案57件と議員発議2件について、原案とおり承認、可決、同意、推薦し、請願1件については不採択としました。

また、最終日には、議会審議活性化調査及び議員定数適正化調査のため、委員7名で組織する議会改革特別委員会が設置されました。

副市長の選任について

三上 裕行氏(再任)

三上裕行副市長は再任の挨拶で、「市長が市政を運営する中で、課題は山積しているが、一つ一つ着実に解決するために、決意を新たに精一杯市長を補佐して職責を全うしたい。」と述べました。

議会改革特別委員会

- 委員長 松野 武司
- 副委員長 福士 寛美
- 委員 三潟 春樹
- 木村 清一
- 稲葉 好彦
- 伊藤 永慈
- 成田 和美

専決処分の承認を求めることについて

○西北五広域福祉事務組合規約の変更に

児童福祉法の改正により知的障害児施設を障害児入所施設に改めるものです。

補正予算(専決処分の承認を含む)

○平成23年度五所川原市一般会計補正予算(第5号)(第8号)

昨年12月末からの大雪に関する除排雪費用や重度心身障害者医療費等給付費、乳幼児医療給付費、生活交通対策補助金及び人件費の増額などによる補正予算です。

○平成23年度五所川原市介護保険特別会計補正予算(第3号)

居宅介護予防支援事業費、国県支出金の精算による返納金の増額などによる補正予算です。

○平成23年度五所川原市病院事業会計補正予算(第2号)

医療機器及び医療情報システム整備に係る費用の増減による補正予算です。

当初予算

平成24年度の一般会計の予算額は、対前年度比3.3%(10億3,900万円)増の、327億9,100万円となっています。編成にあたっては、平成23年度に引き

平成24年度 当初予算

会計名		H24 予算額	H23 予算額	対前年度増減額	対前年度比	
一般会計		32,791,000	31,752,000	1,039,000	3.3	
特別会計	国民健康保険事業勘定	8,235,816	8,222,108	13,708	0.2	
	国民健康保険医科診療施設勘定	213,693	215,259	△1,566	△0.7	
	国民健康保険歯科診療施設勘定	46,413	46,269	144	0.3	
	後期高齢者医療	552,491	545,805	6,686	1.2	
	介護保険	5,749,550	5,518,436	231,114	4.2	
	高等看護学院	103,061	111,416	△8,355	△7.5	
	公共用地先行取得事業	34,095	34,622	△527	△1.5	
	神山財産区	329	295	34	11.5	
	松野木財産区	220	369	△149	△40.4	
	戸沢財産区	196	245	△49	△20.0	
	嘉瀬財産区	376	373	3	0.8	
相内財産区	2,050	2,232	△182	△8.2		
脇元財産区	1,007	1,232	△225	△18.3		
十三	1,588	574	1,014	176.7		
企業会計	病院事業	収益的収入	7,911,131			
		支出	7,507,563			
		資本的収入	609,286		皆減	皆減
		支出	738,937			
	水道事業	収益的収入	1,526,481	1,531,102	△4,621	△0.3
		支出	1,302,997	1,328,225	△25,228	△1.9
		資本的収入	607,301	270,001	337,300	124.9
		支出	1,251,683	851,245	400,438	47.0
	工業用水道事業	収益的収入	110,216	110,132	84	0.1
		支出	71,599	75,265	△3,666	△4.9
		資本的収入	110,230	93,506	16,724	17.9
		支出	183,997	165,699	18,298	11.0
下水道事業	収益的収入	839,812	679,662	160,150	23.6	
	支出	841,175	875,668	△34,493	△3.9	
	資本的収入	423,006	650,406	△227,400	△35.0	
	支出	711,114	749,362	△38,248	△5.1	

続き、「市民生活に安心を与える施策の推進」と「市民と行政とのよりよいパートナーシップの構築」に重点配分するとともに行財政改革への取り組みを堅持しています。(特別会計、企業会計の予算については左表に掲載。)

条例

○五所川原市部設置条例の一部を改正する条例の制定について

災害に対する組織強化及び財政・企画の連携強化を図るため、これまで財政部に配置されていた管財課を総務部に、総務部に配置されていた企画課を財政部に配置替えするものです。

○五所川原市附属機関に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

○五所川原市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について

○五所川原市国民健康保険条例の一部を改正する等の条例の制定について

平成24年4月1日から西北中央病院事業が、つがる西北五広域連合に移管されることに伴い、五所川原市立西北中央病院運営委員会を廃止し、職員定数を改めるなど所要の事項を改めるほか、病院事業関連条例を廃止するものです。

○五所川原市外国語指導員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

外国語指導員等の報酬月額範囲を定めるものです。

○五所川原市集会所設置条例の一部を改正する条例の制定について

蒔田老人憩の家及び基幹集落センターを集会所とし、使用料の徴収区分を1時間単位に見直すものです。

○五所川原市減債基金条例及び五所川原市公共施設等整備基金条例の一部を改正する条例の制定について

一般会計の歳入歳出決算上の剰余金の基金編入に関する事項を定めるものです。

○五所川原市税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法の一部を改正する法律等の施行及び東日本大震災の復興財源確保に関する特例を定めるものです。

○五所川原市山村資源活用施設設置条例の一部を改正する条例の制定について

五所川原市農水産加工センターを公の施設として廃止するものです。

○五所川原市芸術文化振興等基金条例を廃止する条例の制定について

○五所川原市介護円滑導入収納対策基金条例を廃止する条例の制定について

○五所川原市地域福祉基金条例及び五所川原市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例を廃止する条例の制定について

基金の設置目的を達成したことなどから、右記の4基金を廃止するものです。

○五所川原市立図書館設置条例の一部を改正する条例の制定について

○五所川原市市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について

地域の自主性及び自立を高めるための

改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（地域主権改革一括法）の施行に伴い、図書館協議会委員の任命基準及び市営住宅の入居資格を定めるものです。

○五所川原市暴力団排除条例の制定について

市民生活及び事業活動に与える暴力団の影響を排除することについて、基本理念などを定めるものです。

○五所川原市生活支援ハウス設置条例の一部を改正する条例の制定について

生活支援ハウス居住部分の使用料の減免規定を設けるものです。

○五所川原市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

平成24年度から平成26年度までの第1号被保険者の保険料率について、基準額月額を50円引き上げ5,450円に改定するものです。

○五所川原市老人憩の家設置条例を廃止する条例の制定について

川倉老人憩の家、蒔田老人憩の家及び喜良市老人憩の家を廃止するものです。

その他

○新たに生じた土地の確認について

○新たに生じた土地の字名について

十三漁港の公有水面埋立により、市内区域内に新たに生じた土地が生じた

で、この土地を確認し、十三羽黒崎に編入するものです。

○工事請負契約の締結について

・中央小学校校舎新築（建築）工事
契約金額 10億3,950万円

契約の相手方

今・ツシマ特定建設工事共同企業体

・中央小学校屋内運動場新築（建築）工事

契約金額 3億1,132万5,000円

契約の相手方 齋勝建設株式会社

○債権の譲渡について

平成24年4月1日から西北中央病院事業が、つがる西北五広域連合に移管されることに伴い、同病院事業会計の未収金やその他の金銭給付債権を、つがる西北五広域連合に譲渡するものです。

○つがる西北五広域連合規約の変更について

中核病院、サテライト病院、診療所を国民健康保険法の規定による保健事業である病院、診療所として位置づけるための規約変更です。

○損害賠償額の決定及び和解について

排雪作業及び市道の管理瑕疵に起因した損害に関して損害賠償額を定め、和解するものです。

○青森県市町村総合事務組合を組織する
地方公共団体数の減少及び青森県市町村
総合事務組合規約の変更について

平成24年3月31日をもって、公立金
木病院組合を脱退させるための規約変更
です。

○青森県市町村職員退職手当組合を組織
する地方公共団体数の増減及び青森
県市町村職員退職手当組合規約の変
更について

平成24年3月31日をもって、公立金木
病院組合を脱退させ、平成24年4月1日
から、つがる西北五広域連合を構成団体
に加えるための規約変更です。

議員発議

○農業委員会委員の推薦について

(議会推薦)

木村 洋一 氏 (姥 苑)

小野 妙子 氏 (藻 川)

泉谷 信治 氏 (金木町喜良市)

佐藤 敬道 氏 (相 内)

○五所川原市議会委員会条例の一部を改
正する条例の制定について

平成24年4月1日から西北中央病院事
業が、つがる西北五広域連合に移管され
ることなどに伴い、常任委員会の所管事
項を改めるものです。

公の施設の指定管理者の指定について

市の施設の指定管理者を指定するもの
です。(市内4施設。左表に掲載。)

公の施設に係る指定管理者一覧表

指定管理期間 平成24年4月1日～平成27年3月31日

	公の施設の名称	指定管理者となる団体の名称
1	五所川原職業訓練施設	職業訓練法人 五所川原職業訓練協会
2	五所川原市つがる克雪ドーム	財団法人 五所川原市体育協会
3	五所川原市働く婦人の家	
4	保健センター五所川原	

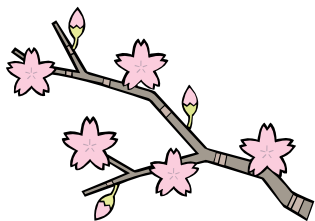
請願

第1回定例会の受付期限までに受理し
た請願の審査の概要をお知らせいたしま
す。

○治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)
の制定に関する国への意見書の提出
に関する請願書

治安維持法は大正14年に制定され、昭
和20年に廃止されるまでに、戦争に反対
したものは逮捕され、拷問などにより獄
死した人々も2千人にのぼるといわれて
いる。

敗戦により、この法律は廃止され、有
罪判決を受けた人々は無罪となったが、
犠牲者に謝罪や名誉回復の措置は行われ
ていないため、治安維持法犠牲者国家賠
償法(仮称)を制定するよう国に意見書
を提出していただきたいという請願内容
ですが、戦争の犠牲者は治安維持法の犠
牲者ばかりではなく、全国民に及んでい
ること、また、請願項目の内容も全国的
に統一されていない部分があることなど
の理由から不採択となりました。



議会会議録の公開について

五所川原市議会では、住民に開かれた議会を目指し、昨年度は、議会だよりの発行と議会本会議
のインターネット中継を実施しました。

平成24年度からは、平成17年第1回臨時会以降の本会議の会議録をホームページに掲載する
ことになりましたので、ぜひご覧ください。

アクセス方法

- 五所川原市 検索 ➡ 五所川原市公式ホームページ画面上部 **議会** のタブをクリック
- ➡ 五所川原市議会トップページ画面左サイトメニューの **会議録閲覧** をクリック

議 決 結 果 表

平成24年
第1回定例会

議案番号	件 名	委員会		本会議
		付託先	審査結果	議決結果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて(平成23年度五所川原市一般会計補正予算(第5号))	予算特別委員会	承認	承認
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて(西北五広域福祉事務組合規約の変更について)	民生常任委員会	承認	承認
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて(平成23年度五所川原市一般会計補正予算(第6号))		承認	承認
議案第4号	平成23年度五所川原市一般会計補正予算(第7号)			
議案第5号	平成23年度五所川原市介護保険特別会計補正予算(第3号)			
議案第6号	平成23年度五所川原市病院事業会計補正予算(第2号)			
議案第7号	平成24年度五所川原市一般会計予算			
議案第8号	平成24年度五所川原市国民健康保険事業勘定特別会計予算			
議案第9号	平成24年度五所川原市国民健康保険医科診療施設勘定特別会計予算			
議案第10号	平成24年度五所川原市国民健康保険歯科診療施設勘定特別会計予算			
議案第11号	平成24年度五所川原市後期高齢者医療特別会計予算			
議案第12号	平成24年度五所川原市介護保険特別会計予算			
議案第13号	平成24年度五所川原市高等看護学院特別会計予算			
議案第14号	平成24年度五所川原市公共用地先行取得事業特別会計予算	予算特別委員会	原案可決	原案可決
議案第15号	平成24年度五所川原市神山財産区特別会計予算			
議案第16号	平成24年度五所川原市松野木財産区特別会計予算			
議案第17号	平成24年度五所川原市戸沢財産区特別会計予算			
議案第18号	平成24年度五所川原市嘉瀬財産区特別会計予算			
議案第19号	平成24年度五所川原市相内財産区特別会計予算			
議案第20号	平成24年度五所川原市脇元財産区特別会計予算			
議案第21号	平成24年度五所川原市十三財産区特別会計予算			
議案第22号	平成24年度五所川原市水道事業会計予算			
議案第23号	平成24年度五所川原市工業用水道事業会計予算			
議案第24号	平成24年度五所川原市下水道事業会計予算			
議案第25号	五所川原市部設置条例の一部を改正する条例の制定について			
議案第26号	五所川原市附属機関に関する条例等の一部を改正する条例の制定について			
議案第27号	五所川原市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について			
議案第28号	五所川原市外国語指導員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務常任委員会	原案可決	原案可決
議案第29号	五所川原市集会所設置条例の一部を改正する条例の制定について			
議案第30号	五所川原市減債基金条例及び五所川原市公共施設等整備基金条例の一部を改正する条例の制定について			
議案第31号	五所川原市税条例の一部を改正する条例の制定について			
議案第32号	五所川原市山村資源活用施設設置条例の一部を改正する条例の制定について			
議案第33号	五所川原市芸術文化振興等基金条例を廃止する条例の制定について	経済文教常任委員会	原案可決	原案可決
議案第34号	五所川原市立図書館設置条例の一部を改正する条例の制定について			
議案第35号	五所川原市介護円滑導入収納対策基金条例を廃止する条例の制定について			
議案第36号	五所川原市暴力団排除条例の制定について			
議案第37号	五所川原市地域福祉基金条例及び五所川原市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例を廃止する条例の制定について	民生常任委員会	原案可決	原案可決
議案第38号	五所川原市生活支援ハウス設置条例の一部を改正する条例の制定について			
議案第39号	五所川原市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について			
議案第40号	五所川原市老人憩の家設置条例を廃止する条例の制定について			
議案第41号	五所川原市国民健康保険条例の一部を改正する等の条例の制定について			
議案第42号	五所川原市市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	建設常任委員会	原案可決	原案可決
議案第43号	新たに生じた土地の確認について	総務常任委員会	原案可決	原案可決
議案第44号	新たに生じた土地の字名について			
議案第45号	工事請負契約の締結について(中央小学校校舎新築(建築)工事)	経済文教常任委員会	原案可決	原案可決
議案第46号	工事請負契約の締結について(中央小学校屋内運動場新築(建築)工事)			
議案第47号	債権の譲渡について	民生常任委員会	原案可決	原案可決
議案第48号	公の施設の指定管理者の指定について(五所川原職業訓練施設)	経済文教常任委員会	原案可決	原案可決
議案第49号	公の施設の指定管理者の指定について(五所川原市つがる克雪ドーム)			
議案第50号	公の施設の指定管理者の指定について(五所川原市働く婦人の家及び保健センター五所川原)	民生常任委員会	原案可決	原案可決
議案第51号	つがる西北五広域連合規約の変更について	総務常任委員会	原案可決	原案可決
議案第52号	副市長の選任について(三上 裕行氏)			同意
議案第53号	平成23年度五所川原市一般会計補正予算(第8号)	予算特別委員会	原案可決	原案可決
議案第54号	損害賠償額の決定及び和解について(排雪作業に起因した損害)	建設常任委員会	原案可決	原案可決
議案第55号	損害賠償額の決定及び和解について(市道管理瑕疵に起因した損害)			
議案第56号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について			
議案第57号	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の増減及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について	総務常任委員会	原案可決	原案可決
請願第1号	治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定に関する国への意見書の提出に関する請願書		不採択	不採択
発議第1号	五所川原市農業委員会委員の推薦について(木村 洋一氏、小野 妙子氏、泉谷 信治氏、佐藤 敬道氏)			推薦
発議第2号	五所川原市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について			原案可決

一般質問

3月5日、6日の本会議では6名の議員が、市政に対する一般質問を行いました。

ここでは、一般質問順に、主な質問と答弁の内容を要約して掲載いたします。

なお、この文章は、質問議員自らが作成しています。（※一般質問の詳細につきましては、議会ホームページより本会議の録画中継をご覧ください。）

・平成24年度当初予算の編成方針について



至誠公明会

稲葉 好彦

問 平成27年度からの普通交付税減少に対処するため、地域振興基金と財政調整基金を積み立ててきたが、その基金の目標額と設置目的を示せ。

答 財政調整基金は、平成27年度末までに15億円を積み立て、経済事情の著しい変動や災害により生じた経費や減収を埋めるための財源に充てるものである。

地域振興基金は、合併特例債により平成24年度末まで20億3,600万円を積み立て、地域住民の連帯の強化及び地域振興に資するために必要がある

と認められる場合に活用されるが、取り崩すのは、合併特例債の償還が終わった範囲にとどめ、現在は地域振興基金の運用益による市単独事業の財源を確保していくことが適当と考えている。

問 防災拠点としての役割を担う公共施設の耐震診断を実施してきたが、今後の計画はどうなっているのか。

答 市では昭和56年以前に建設された公共施設の耐震診断と耐震改修を実施してきたが、平成24年度は、栄、中川、松島、長橋、飯詰の5カ所のコミュニティセンターの耐震診断を行い、耐震補強が必要であると診断されれば、平成25年度には耐震補強する方向で対処したい。

また、昨年10月に中央公民館と金木公民館について耐震診断を実施したが、中央公民館は平成24年度に改修設計業務、平成25年度に耐震改修工事を予定し、金木公民館は平成24年度に改修工事をを行う予定となっている。

・原子燃料サイクル事業推進特別対策事業について 除排雪について



日本共産党

花田 進

問 原子燃料サイクル事業推進特別対策

事業の助成金は、福島原発の事故を受け、受け取るべきではないと考えるが。

答 この助成金は、原子燃料サイクル施設の立地を契機とした地域振興策の一環として、財団法人むつ小川原地域・産業振興財団が助成している。平成23年度と24年度は拡充枠2千万円があり、単年度当たり6,488万円となっている。

活用先としては、立佞武多開催費補助事業、金木桜まつり助成事業などであります。

自主財源が乏しい財政基盤の中にあつては、あらゆる財源を有効活用しながら市民生活の福祉向上、地域振興につなげていく必要があると認識しています。

問 豪雪になった今年の除雪額と直営と委託の割合、委託料の決め方、既存側溝を利用した除雪対応について。

答 除排雪予算は当初3億円余りでしたが、豪雪により7億4,648万円と見込んでいます。除排雪の総延長は620kmで、直営と委託の割合は3対7、経費に対する委託割合は68%です。業者委託料の決め方は、1時間当たりの単価で契約し、タコグラフを基に稼働時間を算出している。消流雪溝の総延長は、2万m余りです。通常の側溝は雨水排水用で除排雪用ではありませんが、側溝の断面が大きく、投雪された雪が解け、あふれ出す危険が少ない

場合は、市で投雪用のフタの取り替え等を検討してまいりたい。

・公衆トイレの冬期開放について 学校教育について



政和会

加藤 磐

問 市営野外公衆トイレ（菊ヶ丘運動公園・芦野公園プール横）の冬期開放について。

答 現在、菊ヶ丘運動公園のトイレは、いたずらなどにより、芦野公園プール横のトイレは、冬期間閉鎖仕様で建設されたため、冬期開放は行っておりません。

今後、合浦公園や弘前公園などの事例を参考にしながら、利用できるための方策を検討してまいります。

問 中学校武道必修化に対する内容と対応について。

答 平成24年度の市内6中学校の武道実施予定種目は、柔道4校（五一中、五三中、五四中、金木中）、剣道2校（五二中、市浦中）となっております。必要な教材については、各中学校からの要望調査を行い、それぞれ整備しております。

また、武道の安全な指導のために、地域指導者を生かした取り組みを推進

している学校もあり、年度内に周知される文部科学省からの安全指針を受け、安全を最優先するよう指導、助言を徹底してまいります。

・災害問題について
・経済問題について



至誠公明会
平山 秀直

問 現在の自主防災組織率と、組織率向上のための自主防災資機材整備費助成の取り組み状況を示せ。

答 当市の自主防災組織は、現在14団体が組織されている。世帯数で見た組織率は12.8%と青森県平均の31.2%と比較しても低いものとなっている。平成24年度当初予算において新規事業として自主防災組織育成助成事業補助金270万円を計上している。

先進事例では、資機材を直接補助する制度などもあるが、当市事業では1団体当たり30万円を限度として資機材購入のための補助金を交付する予定であり、自主防災組織の設立促進につながればと考えている。

問 新規就農総合支援事業の青年就農給付金の内容と当市の取り組み状況及び今後の状況について示せ。

答 青年就農給付金制度は、青年の就

農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農前の研修期間等の所得を確保する給付金として1年当たり150万円を最長7年間給付するものであり、機械や施設導入をする場合には、経営体育成支援事業で2分の1の補助を受けることができるようになっていく。これまで新規就農者に対する独自の支援を行ってきたが、当該制度を周知した結果、本事業を活用して新規就農したい件数が見込みより増えたため、現在、県に対し当市の事業枠拡大を要望している。

・市の活性化対策について
・豪雪の対応について



民社協会
阿部 春市

問 観光開発に地域資源や地域の文化・歴史を取り入れた対応をするべきではないか。また、観光ガイドの育成を図るべきではないか。

答 県が作成した奥津軽歴史探訪を活用し、縄文の亀ヶ岡、中世の十三湊、近世の北前船に、当市の五月女范遺跡、平安の須恵器等、広域の歴史や文化資源を生かした観光振興に取り組んでまいります。

また、当市の著名人を観光資源としてホームページに整理し、全国に発信、

PRしていきたいと思っています。

観光ガイドについては、現在、地域に限定した取り組み状況であり、観光客へのサービスの充実を図る上で、今後観光ガイドの組織化、質の向上に向けて観光協会や各団体と連携して検討してまいります。

問 今冬の降雪状況とその対応について。また、農業被害の実情と今後の対策について。

答 今冬は7年ぶりの大雪で最大積雪深は123cm、総降雪量は2月27日現在で517cmを記録したため、除排雪が追いつかない時もありご不便をおかけした。苦情等の件数は3月2日現在2,921件となっている。また、高齢者世帯及び障害者世帯には職員による除雪隊を結成し、活動件数は21件、延べ77名が出動した。農業面では、パイハウス被害が27棟、被害額は3,500万円である。今後はりんご園の枝折れ被害が懸念され、その対策としてパイハウスへの共済加入等、JAと連携を図り農家への啓蒙を進める。

・経済対策について
・観光振興対策について



至誠公明会
松野 武司

問 次年度の経済対策事業について。

答 平成24年度青森県一般会計当初予算案は、財政健全化努力の継続や財源の効率的活用に努め、震災をばねにして県民の暮らしと本県産業のさらなるレベルアップを積極的に推進することとされており。その中には当市にとっても農業、商工業、観光など地域経済の底上げにつながる事業や地域活性化に係る補助金などが計上されており。

こうした県が実施予定の事業に関して、県担当課等との情報共有を行いながら積極的に活用してまいりたいと考えております。

問 観光PR対策について。

答 五所川原市総合計画前期計画では観光客受け入れ体制の整備及び通年での観光を一層展開して誘客を図っていくこととし、後期計画では通過型の観光から周遊滞在型観光への転換を図って経済波及効果を高めていき、西北津軽地域を観光の舞台として、それぞれに有益な広域観光の振興を図ることとしております。

観光基本計画の策定について、当市観光行政の指針として、これは必要なことであるというふう認識しております。

今後、市総合計画に沿った観光基本計画の策定に向け検討してまいります。

総括質疑

3月7日に、議案第45号及び議案第46号の議案（工事請負契約の締結について）に対する総括質疑が行われましたので、その主な内容を掲載いたします。

委員会で寄せられた主な質問を掲載いたします。

平成24年度五所川原市一般会計予算

（予算全般）

- ・財政調整基金残高の見込みについて
- ・災害に対する地域振興基金の活用について
- ・一般職員数減少の内訳について

（歳入）

- ・コンビニ収納の内容について
- ・原子燃料サイクル事業推進特別対策事業助成金の使途について
- ・合併特例債と過疎債の内訳と金額について
- ・地域振興基金造成事業に係る市債の償還年限について

（歳出）

- ・老朽危険家屋対策調査業務委託料の調査方法について
- ・高額寄附者感謝状贈呈事業の基準及び対象者数の見込みについて
- ・パブリックコメントの実施状況と今後の対応について
- ・地域振興基金の運用状況について
- ・五所川原地区安全運転管理事業主体会費及び青森県安全運転管理者協会費の負担理由について
- ・市政アドバイザー事業の内容について
- ・青森県市町村税滞納整理機構に徴収依頼する税目、金額等について

- ・障害者福祉サービス費等支給事業の内容、変更点及び周知方法について
- ・金木中央老人福祉センター新築に向けた計画について
- ・保育所緊急整備事業の対象保育所について

- ・子宮頸がん等ワクチン接種事業の内容及び変更点について
- ・五所川原市斎場大規模改修事業の内容及び改修時期について
- ・ペット火葬場併設に向けた考え方について
- ・ごみ減量化啓発事業の内容について
- ・ごみ収集・リサイクル推進事業の内容について
- ・カラスの糞対策の取り組みについて
- ・岩木川水系水質汚濁対策連絡協議会の業務内容について

- ・つがる西北五広域連合負担金の積算根拠について
- ・つがる西北五広域連合が管理運営する病院の経営内容、管理責任及び組織体制について
- ・つがる西北五広域連合への財産、債権債務の譲渡について
- ・りんご剪定士養成事業委託料の内容について
- ・りんご産業基幹青年養成事業費委託料の内容について
- ・農業再生協議会の業務内容について
- ・五所川原市新規就農者支援事業と青年就農給付金事業との関係について
- ・りんご放任園発生防止等対策事業の内容について

- ・内容について
- ・ウインターガーデンの今後の維持管理について
- ・五所川原市ふれあい牧場研修施設の利用率について
- ・立佞武多の館展示室改修事業の内容について
- ・企業誘致に関する市政アドバイザーの活用について
- ・住宅リフォーム助成事業の内容及び申込み方法について
- ・五所川原地区消防事務組合負担金（消防庁舎建設事業）の積算根拠について
- ・消防庁舎建設の予算と入札差額の事務処理について
- ・青森県防災ヘリコプターの活用状況について
- ・小学校通学バスの運行状況について
- ・要保護及び準要保護児童援助費の対象予定者数について
- ・中学校武道必修化に向けた選択状況及び事故防止対策について
- ・五所川原第一中学校外構整備事業の内容について
- ・五所川原第二中学校外構整備事業の内容について
- ・五所川原第四中学校大規模改造事業の内容について
- ・青森県立金木高等学校市浦分校の今後の方向性について
- ・青森県立金木高等学校市浦分校の耐震化の状況について

予算特別委員会

花田進議員から、中央小学校校舎及び屋内運動場の新築工事の条件付き一般競争入札に関して、報道機関に談合情報寄せられたことに対する対応や落札率が高かったことについてなどの質疑に対し、入札参加者に対する事情聴取を行った結果、談合の事実が確認されなかったため、誓約書を提出させて開札し、工事内訳書についても入念に確認したこと、落札率が高くなったことについては、設計額が精査された結果であると考えていると答弁しました。

3月7日に全議員で構成される予算特別委員会が設置され、委員長に成田和美委員、副委員長に山田善治委員を選任し、3月9日と12日に当初予算案など24件について審査が行われました。

- ・ふるさと交流圏民センター整備事業の内容について
- ・市営球場管理費の内訳について
- ・財団法人五所川原市体育協会の公益法人化に向けた予算措置について
- ・サッカー場整備計画の有無について

平成24年度五所川原市国民健康保険事業勘定特別会計予算

(歳入)

- ・一般被保険者国民健康保険税の減額理由について
- ・国民健康保険税滞納繰越分の収納率及び不能欠損額の見込みについて
- ・国民健康保険税の収納率向上対策の実施状況について
- ・財政調整基金の年度当初及び年度末残高の見込みについて

(歳出)

- ・過疎対策事業債の発行理由について
- ・診療施設勘定特別会計繰出金の根拠について

平成24年度五所川原市国民健康保険医科診療施設勘定特別会計予算

(歳出)

- ・その他特別職の報酬の内容について

平成24年度五所川原市介護保険特別会計予算

(歳入)

- ・介護保険料の減額理由について

- ・財政調整基金の年度当初及び年度末残高の見込みについて

(歳出)

- ・介護認定審査会費負担金の積算方法について

平成24年度五所川原市高等看護学院特別会計予算

(歳入)

- ・財産収入の廃款理由及び今後のテナント入所予定について

平成24年度五所川原市各財産区特別会計予算

(歳出)

- ・各財産区特別会計において財産区管理会委員報酬が異なる理由について
- ・各財産区特別会計において財産区管理会長交際費が異なる理由について

平成24年度五所川原市水道事業会計予算

(予算全般)

- ・水道料金の統一や改定に向けた方針について

平成24年度五所川原市工業用水道事業会計予算

(予算全般)

- ・一時借入金の増額理由及び借入先の予定について
- ・他企業会計から資金を一時借り入れ

することについて

平成24年度五所川原市下水道事業会計予算

(歳出)

- ・浄化槽設置整備事業の補助件数の見込みについて

討 論

第1回定例会の最終日には、予算特別委員会長からの報告に対して、反対の立場から討論がありましたので、その主な内容を掲載いたします。

平成24年度五所川原市一般会計予算

反対

日本共産党

花田 進

原発・核燃をなくすという視点から原子燃料サイクル事業推進特別対策事業助成金を受けるべきではないこと、中央小学校や消防庁舎の建設工事の入札は著しく談合の疑いが大きいがこれに対する市の毅然とした対応を感じる事ができないこと、また、地方債が膨らんでいる中で地域振興基金を積立することの3点から、一般会計当初予算の一部に反対します。

クールビズの実施について

五所川原市議会では、6月1日から9月30日までの4ヶ月間、環境省提唱のクールビズ（ノーネクタイなど夏の軽装）を実施します。

傍聴する皆さんも涼しい服装で来庁ください。

COOLBIZ



総務常任委員会

2月6日から8日までの日程で、長野県茅野市にて「防災対策」、長野県諏訪市にて「自主防災組織防災資機材整備費補助金」、埼玉県志木市にて「市税等収納コールセンター事業」について行政視察を行いました。

茅野市では、フリーダイヤルによる「こうほうちの」、「防災メール配信」及び「防災ラジオ」導入により、難聴対策の解消に努めていた。防災メール配信は、情報を配信する側の事務量が非常に多いことが難点であり、今後、国からの防災情報をあわせたメール配信が検討されていた。

諏訪市では、自主防災組織率が市全体で87%と防災に対する意識が非常に高かった。その背景には、市職員が直接地域に向く「出前講座」を通して、防災に対する意識の高揚を図っていたことにある。また、地域住民が自主的、組織的に防災活動ができるよう、市単独による防災資機材、放送施設に対する補助をし、市をあげて防災活動に取り組んでいた。

志木市では、税の滞納者が増加する中、安定した収入を確保し市の健全な財政運営を図っていくために、民間委託により収納コールセンターを設置し、電話による市税等の納付呼びかけ業務を実施している。また、民間業者に徴収事務の一部を委託し、職員が本

来の業務に特化できる対策を講じて収率向上を図っていた。

今後、当市の防災対策の一環として、まずは自主防災組織率を高め、普段から地域内で防災活動に取り組むことが急務である。そのために市民の防災に対する意識高揚を図る対策を講じていかなければいけないと考える。また、昨年導入したエリアメールと併用した防災メールの充実を図っていくことも必要と思う。

税の安定した収入確保をするためには、民間の専門的な知識を持った人材（会社）を確保することも手段のひとつと考える。

(総務常任委員会委員長 平山 秀直)



民生常任委員会

2月7日から2月9日までの日程で、静岡県掛川市にて「ごみ減量化の取り組み」、静岡県袋井市にて「健康マイレージ制度」、東京都日野市にて「ごみ減量推進市民会議」について行政視察を行いました。

掛川市では、基準期間の1人1日あたりの燃えるごみの量(588g)を平成23年度までに14%減量する目標を設定し、ごみ分別説明会や啓発パネルなど、市民一体となって取り組んだ結果、平成22年度には505gと14%以上を減量させることができ、全国7位の少なさとなっている。また、ごみ処理施設においても、ごみの減量化と有効利用が図られていた。

当市では平成32年度までに、ごみの総排出量を20%削減することを目標としており、掛川市の取り組みは参考になりました。

袋井市では、日本一健康文化都市を目指すにあたり、平成19年度から健康マイレージ制度を実施している。個人の健康づくりの実施状況に応じてポイントが付与され、貯めたポイントは幼稚園、小中学校へ寄附したり、各種サービス券と交換できる制度となっている。

生活習慣病の一次予防策として重要な取り組みとなっており、当市でも健康づくりをする気づきの施策に努める

必要があることを認識しました。

日野市では、多摩地区でごみ排出量がワースト1であったため、ゴミ袋を有料化するなど、ごみ改革に取り組んでおり、市民の負担や努力を無駄にしないために、公募によるごみ市民会議を発足させ、ごみ計画の見直しやごみカレンダーの一部の企画編集などを行っている。

当市においても市民の声を積極的に取り入れながら成果を上げていく必要があると思います。

(民生常任委員会委員長 三瀧 春樹)



建設常任委員会

2月14日から2月16日までの日程で、愛知県知立市にて「耐震・災害対策」、愛知県愛西市にて「学校給食センター整備事業」について行政視察を行いました。

知立市では、阪神・淡路大震災を教訓とし、「知立市耐震改修促進計画」を策定し、その中で、「民間木造住宅無料耐震診断」として、昭和56年5月31日以前に着工した民間木造住宅の無料耐震診断を行っている。また、「民間木造住宅耐震改修補助事業」として、耐震診断の結果を受けて、耐震補強工事を行う場合、工事費と設計管理費の助成を行っている。一般型は100万円、簡易型は30万円を上限として助成している。

当市でも、東日本大震災の体験により、耐震・災害対策が重要視されている今日、知立市が行っているような対策を行う必要があることを認識しました。

愛西市では、今年2月に竣工したばかりの学校給食センターを視察することができました。施設内は、床を3色に分け、そこで働く人が他の区域に行かないよう衣服と長靴を床と同色と

し、汚染作業区域と非汚染作業区域を明確に分離するなど、徹底した衛生管理を行っていました。また、アレルギー専用調理ラインなど個人のための健康管理、自然エネルギーの活用、省エネルギーの採用など環境への配慮も多々見られた。

当市でも学校給食センターの老朽化が進んでいるため、近い将来に改修、新築が必要と考えられます。その際、愛西市で学んだことを役立てていきたいと思えます。

(建設常任委員会委員長 吉岡 良浩)



議会運営委員会

1月24日から26日までの日程で、新潟県長岡市にて「議会改革状況及び議会運営」、埼玉県蕨市にて「議会先例集」について行政視察を行いました。

長岡市議会では、バリアフリーの対応について、全議員の当選に伴い文書を点字化し、全国市議会初となる盲導犬の議場及び委員会室への同行を認めているほか、行政視察への職員随行をはじめ、議場と委員会室へのパソコンを許可しています。

また、議会として市議会活性化について議論する必要があるとの認識で、議会活性化検討委員会を設置したり、議長選挙に先立ち立候補者による所信表明を聞く会を行ったほか、議員定数の削減や情報発信など議会改革に取り組んでいました。

当市議会でも検討している会議録検索性システムなど、情報公開への寄与、利便性を図る上で大いに参考になりました。

蕨市議会では、独自に先例集を作成しており、法、条例などで規定していない事項を補うことで、議会の機能を充実させるための先例や事例は、議会運営に大きな役割を果たしているもの

と思えます。

特に、地方自治法の改正により、常任委員会への複数所属が規定されたことに伴い、財務審査に特化した専門の常任委員会で審査することを目的に、決算常任委員会を設置したことは大いに参考になりました。

今回の研修で学んだ点を、これからの当市議会の議会改革と議会運営に生かしていきたいと思っております。

(議会運営委員会委員長 稲葉 好彦)



委員会行政視察報告

(※経済文教常任委員会は2月1日から行政視察を行う予定でしたが、大寒波の影響により中止となりました。)

- 6月7日(木) 本会議(開会)
- 6月11日(月)～12日(火) 本会議(一般質問)
- 6月13日(水) 本会議(総括質疑、予算特別委員会設置、議案付託)
予算特別委員会(組織会)
常任委員会(議案審査)
- 6月14日(木)～19日(火) 特別委員会(議案審査)
- [16日(土)、17日(日)を除く]
- 6月22日(金) 本会議(閉会)

※日程が変更になる場合があります。
次回定例会日程が正式に決定されるのは6月上旬となりますので、市のホームページ等でご確認ください。
●お問い合わせ先……議会事務局

請願、陳情について

市政について要望等があるときは、市議会に請願書や陳情書を提出することができます。

【請願書・陳情書の出し方】

次の項目を記入のうえ、議長宛に提出してください。(右図参照)

- ①提出年月日
- ②請願(陳情)者の住所、氏名(法人の場合は名称、代表者名)、押印
- ③件名
- ④請願(陳情)の趣旨(または理由)
- ⑤請願(陳情)項目(要望等を簡条書きで記入)

【受付期限について】

定例会開会日の3日前までに提出してください。期限を過ぎた場合は、次回定例会の審議対象となります。

(図)

① 平成 年 月 日

五所川原市議会
議長 ○○○○

② 請願者
住所
氏名 ○○○○ 印

③ ○○○に関する請願(陳情)書

④ 1. 請願(陳情)の趣旨(または理由)

⑤ 2. 請願(陳情)項目
(1)
(2)

以上、地方自治法第124条の規定により請願します。
(※請願書のみ)

編集後記

昨年12月からの大雪の日々。いつの間にか豪雪。春彼岸を向かえても寒さ続きでしたが、ようやく日増しに春めいてきました。国内外の情勢は予断を許すことができない難問が山積みです。いまだ東日本大震災の爪跡が残り、日本政治はどうなったのか？。

我々、生活者を取り巻く環境は、知らず知らずのうちに苦しくなり、政治の押し付けだけで腹立たしさが残ります。改革だけを推し進め、事の検証をしない議員のパフォーマンスや耳ざわりのいい言葉に、市民が騙されていないか心配です。

ここに来て、ガソリン、食品の高騰、景気の回復が見込まれない現実とともに政治離れがあります。市民の為、明日を担う子供、孫の為に考え、政治屋でなく政治家であるべきと思っております。

(山田 和宗)

議会だより編集特別委員会

- 委員長 山口 孝夫
- 副委員長 山田 和宗
- 委員 木村 清一
- 委員 伊藤 秀直
- 委員 花田 永慈
- 委員 吉岡 良浩
- 委員 木村 慶憲

■発行／五所川原市議会 ■編集／議会だより編集特別委員会

〒037-8686 五所川原市字岩木町12番地 TEL 0173-35-2114 FAX 0173-35-2113

ホームページ [五所川原市](#) 検索 → 五所川原市公式ホームページ画面上部 [議会](#) のタブをクリック
メールアドレス gikai@city.goshogawara.lg.jp

※ご意見・ご要望をお聞かせください。いただいたご意見は議会だよりに役立たせていただきます。